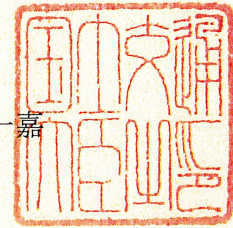


# 認定書

国住指第705号  
令和2年9月11日

株式会社古河テクノマテリアル  
代表取締役社長 鈴木 比呂輝 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第68条の25第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第129条の2の4第1項第七号ハ（防火区画貫通部1時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-0927-1
2. 認定をした構造方法等の名称  
ケーブル・電線管／外装材付グラファイト混入無機質充てん材シート・セメントモルタル充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

ケーブル・電線管／外装材付グラファイト混入無機質充填材シート・セメントモルタル充填／壁  
耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

## 2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ100mm以下)
	面積	0.0079m <sup>2</sup> 以下
占積率	(開口面積に対する鋼製電線管の断面 積の割合)	35.5%以下
	(鋼製電線管の開口面積に対するケー ブル・樹脂製電線管の断面積の総合計 の割合)	49.8%以下
貫通する壁の構造等		ALC パネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 75 mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、ケーブル・電線管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様		
シート	材料	外装材付グラファイト混入無機質充てん材シート(粘着テープ)		
	寸法	総厚さ2.25mm以上 幅50mm以上 (かぶり寸法：アダプター樹脂部30mm以上、アダプター金属部20mm以上)		
	使用箇所	アダプター樹脂部と金属部に巻き付け(両側)		
	表面材	材料	①又は② ①ガラスクロス(化粧：あり又はなし) 化粧の材質：(1)～(4)の一 (1)ポリエチレン系樹脂 (2)塩化ビニル系樹脂 (3)シリコーン系樹脂 (4)オレフィン系樹脂 塗布量：850g/m <sup>2</sup> 以下 ②アルミニウム箔貼付ガラスクロス	
		厚さ	0.25mm以上	
	熱膨張性 耐火シート	材料	グラファイト混入無機質充てん材シート	
		厚さ	2.0mm以上	
		密度	1.66(±0.15)g/cm <sup>3</sup>	
	裏面材 (ケーブル・ 電線管側)	組成 (質量%)	材料組成は社外秘とさせていただきます	
		材料	①～⑤の一 ①ポリエチレン系フィルム ②ポリプロピレン系フィルム ③塩化ビニル系フィルム ④ポリエステル系フィルム ⑤ポリアミド系フィルム	
充てん材	厚さ	0.1mm以下		
	材料	セメントモルタル		
	組成 (質量%)	材料組成は社外秘とさせていただきます		
	使用箇所 (使用量)	壁と鋼製電線管との隙間に密に充てん (壁厚方向75mm以上)		

表3 ケーブル・電線管の仕様

項目		仕様			
ケーブル	導体(又は芯線)の断面積	1本あたり	150mm <sup>2</sup> 以下		
		総合計	450mm <sup>2</sup> 以下		
	総有機量	1.481kg/m以下			
	導体(又は芯線)の種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質			
	絶縁体	ポリエチレン系	厚さ	2.0mm以下	
		塩化ビニル系			
		EPR(エチレンプロピレン)系			
		ポリオレフィン系			
介在(円形に調整する充てん材)	紙、ジュート、ポリオレフィン又はなし				
シース	ポリエチレン系	厚さ	1.5mm以下		
	塩化ビニル系				
	ポリオレフィン系				
	合成ゴム系				
電線管	鋼製	材料	鋼製電線管(JIS C 8305)		
		外径	59.6mm以下		
		厚さ	2.8mm以下		
		長さ	200mm以上		
	樹脂製	材料	合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411、PF管)		
		外径	64.5mm以下		

4. 副構成材料の仕様：  
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目		仕様	
アダプター		材料	樹脂部：①、②又は③ ①PVC (塩化ビニル樹脂) + PC (ポリカーボネート) ②ABS樹脂 (アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合) + PVC (塩化ビニル樹脂) ③PP (ポリプロピレン) + PC (ポリカーボネート) 金属部：鋼製
		質量	樹脂部①の場合：178g 以下 樹脂部②の場合：53g 以下 樹脂部③の場合：50g以下
		固定材	鋼製ねじ
シート 固定材	被覆材	材料	仕様：あり又はなし (帯金物の場合なし) ①～④の一 ①ポリエチレン系樹脂 ②ポリエチレンテレフタレート系樹脂 ③ポリプロピレン系樹脂 ④塩化ビニル系樹脂
		材料	①、②又は③ (帯金物の場合は②) ①鋼製 ②ステンレス鋼製 ③銅製
	金属線 又は 帯金物	寸法	金属線の場合 φ0.39mm以上 帯金物の場合 幅4.4～6.4mm、厚さ0.25mm以上
塗装 (鋼製電線管用塗装)		材料	仕様：あり又はなし ①～⑧の一 ①アクリル系樹脂 ②アクリルシリコーン系樹脂 ③アクリルウレタン系樹脂 ④アクリルエポキシ樹脂 ⑤ウレタン系樹脂 ⑥シリコーン系樹脂 ⑦フッ素系樹脂 ⑧セラミック系
		塗布量	500g/m <sup>2</sup> 以下 (有機質量)

5. 構造説明図：  
 構造説明図を図1に示す。

単位 mm

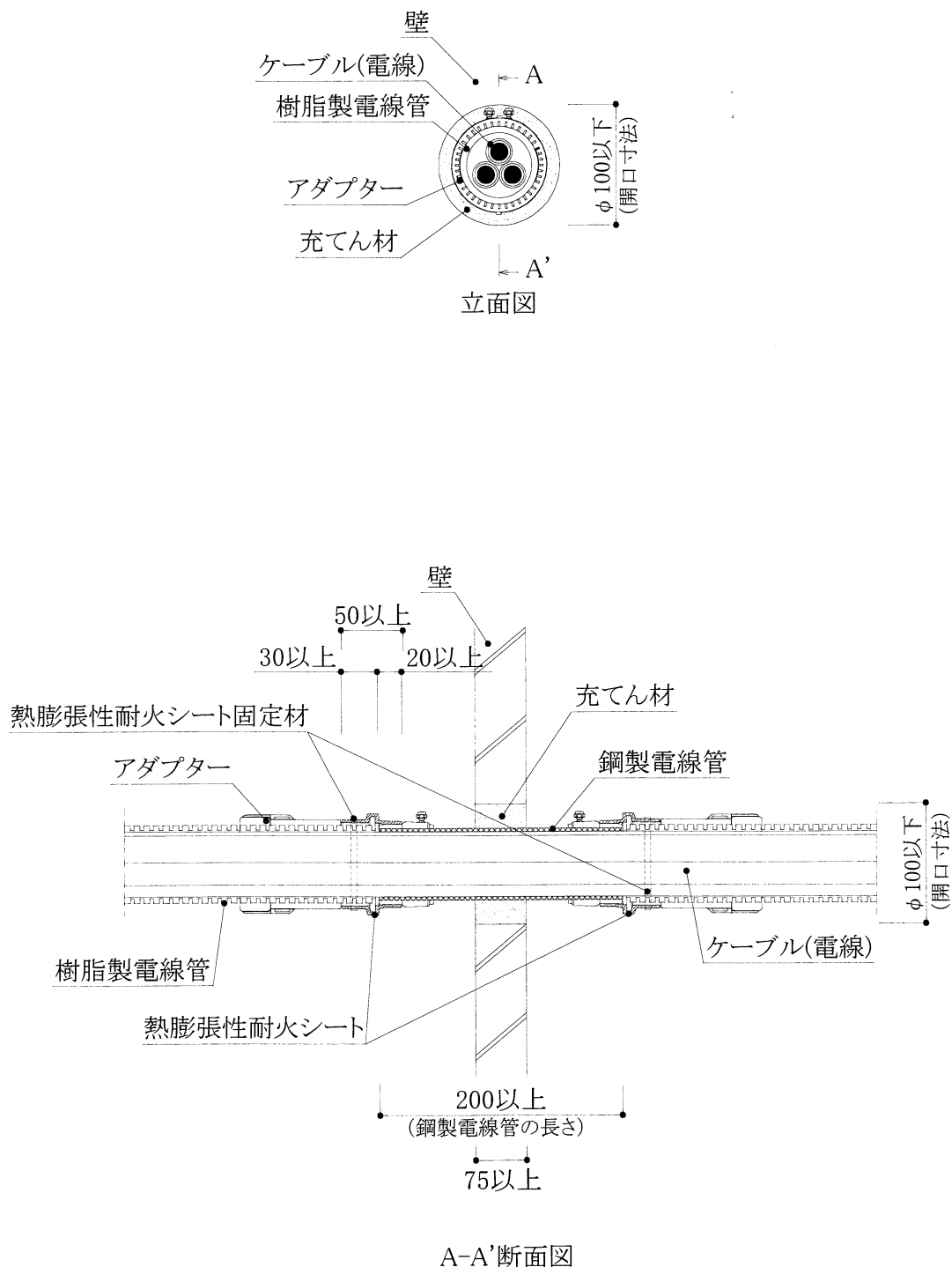


図1 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 開口部の開口面積、壁の構造等が仕様に適していることを確認する。
- (2) 開口部の周囲を清掃する。
- (3) 仕様に規定されている長さの鋼製電線管を開口部に貫通させ、隙間を充填材で密に充填する。  
また、鋼製電線管の端部には、アダプターを取り付ける。
- (4) 仕様に規定されている占積率に従って鋼製電線管内にケーブル・樹脂製電線管を貫通させる。
- (5) アダプター(両側)に熱膨張性耐火シートを隙間なく密着させて1周以上巻き付ける。  
なお、密着性向上のため、熱膨張性耐火シート裏面材には粘着テープを用いても良い。
- (6) 熱膨張性耐火シートを巻き付けた部分には、熱膨張性耐火シート固定材でしっかりと固定する。